

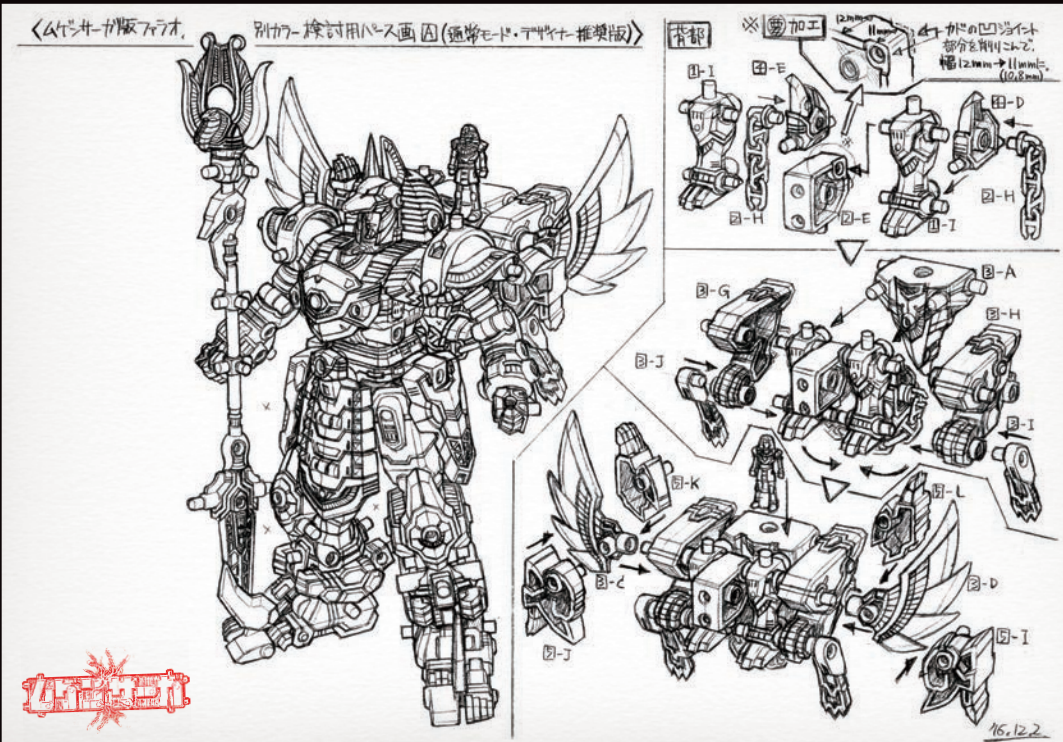
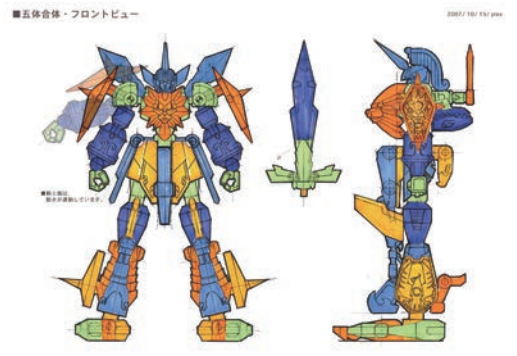
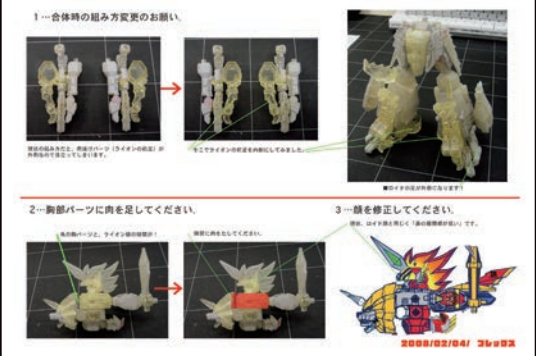
「のど」でムゲンバインの真実と

ムゲンサーガの新展開が明らか!?

ムゲンサーガ

ファイン決起集会
スペシャルブックレット

2017.4.23



はじめに

ムゲンサーガ——。

それは、2000年代後半を席卷した名作食玩

「ムゲンバイン」シリーズの新章である。

この改題は、単なる再起動ではないことを示している。

新たな設定の導入、新たなメディア展開、

そして、新たな戦士を生み出すという宣言に他ならない……。

本日、この「Asagaya/Loft A」にて、

かつてムゲンバインを生み出した者、

そしてムゲンサーガを見守りし者が揃う。

賢者たちは、この大いなる食玩の過去・現在・未来を

思う存分語ってくれることだろう。

この小冊子は、彼らの語りを聞き、理解する上で

その手助けになるはずだ。

きっとあなたは、この宴が終わった後、

ムゲンサーガの新たな可能性を実感するだろう。

さあ、伝説の食玩の復活と無限なる楽しさを

共に祝い、飲み、語ろうではないか！

——本日のパネリスト——

鈴木勝（玩具デザイナー）

ヲタファ（玩具レビュー YouTuber）

鳥居沙菜（株式会社バンダイ 元「ムゲンバイン」商品担当）

司会：ロボ石丸（ロボ特撮研究家）

主催：合同会社ラ・シタデル

協力：株式会社バンダイ

＜年表の文字色について＞
 紫……旧ムゲンバインシリーズ
 赤……ムゲンサーガシリーズ
 緑……その他の関連商品

「ムゲンサーガ」の過去、そして未来を語る上で欠かせないもの…。それは前身にあたる「ムゲンバイン」シリーズに他ならない。ここでは、その歴史をまと

めた年表で「ムゲンバイン」が「ムゲンサーガ」に至るまでの変遷を振り返ってみよう。トークの補足資料として活用してもらえると嬉しい。

3月

「マシンロボ ムゲンバイン ムゲン合体シリーズ 01 エアレオン」発売。後の食玩版ムゲンバインの礎となった。

11月

玩具版「ムゲン合体シリーズ」最後のアイテム「ムゲンバイン ムゲン合体シリーズ リードザウルス」発売。

1月



「マシンロボ ムゲンバイン ムゲン四龍伝 (ムゲンリュウオウ)」発売。

9月

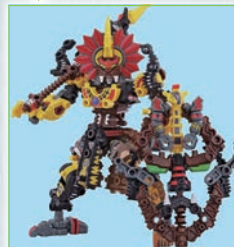


「ムゲンバイン ムゲン海聖獣 (ムゲンバイレズ)」発売。前弾 (剣聖獣) のムゲンリヴァイアサンと7体合体し、ムゲンカイオウとなる。

7月

「マシンロボ ムゲンバイン ムゲンエンペラー VS デスエンペラー」発売。本商品は前述の「四聖獣」にリデコアイテムを追加したもの。

9月



「ムゲンバイン ムゲン猛神獣 (ムゲンサファリ)」が発売。

8月

ガシャポン版ムゲンバイン第1弾「ムゲンバイン G 幻闘士」が発売。5体合体することでロボのムゲンジーファントムと、長剣・ムゲンブレードが完成する。

10月



「ムゲンバイン 牙龍輝バインズ (リュウボーンバイン)」が発売。ムゲンサファリと合体することで、ムゲンジュウオウとなる。

7月



「ムゲンサーガ ムゲンアシムラ」発売予定。

1月



食玩版ムゲンバインを締めくくる最終アイテム「ムゲンバイン ムゲン超魔獣 (ムゲンサタン)」が発売。本アイテムはヘルハウンドモード、デストロイモードへの多段変形ギミックが盛り込まれた。

2003年 2004年 2006年 2007年 2008年 2009年 2010年 2011年 2017年

8月

食玩版ムゲンバイン第1弾「マシンロボ ムゲンバイン」発売。エアレオン、キャリアイーグル、ギャラクシーレックスの3種が合体し、オリジナルロボ・ムゲンジェネラルが完成した。

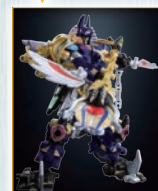
7月

前述の「四聖獣」と「四龍伝」をシャッフルおよびリデコした「マシンロボ ムゲンバイン〜ムゲン金王神×ムゲン銀王者〜」が発売。

8月

「マシンロボ ムゲンバイン ビルド合体シリーズ ダークフレイムドラゴン」発売。本商品が玩具版ムゲンバインの最終商品となった。

1月



「ムゲンバイン ムゲン五神獣 (ムゲンファラオ)」が発売。本商品以降、神話・神獣をモチーフとしたシリーズにシフトする。

6月



「ムゲンバイン ムゲン剣聖獣 (ムゲンアサー)」発売。

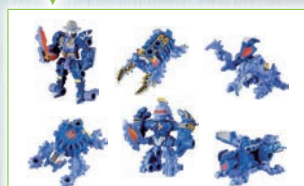
2月

「ムゲンバイン ムゲン闘神獣 (ムゲンアシュラ)」と「ムゲンバイン 炎龍輝バインズ (リュウファイヤーバイン)」が発売。

▶ムゲンアシュラとリュウファイヤーバインは合体が可能。12体合体し、迫力のムゲンエンオウとなる。



7月



「ムゲンバイン 風龍輝バインズ (リュウストームバイン)」発売。ムゲンガーディアンと合体し、ムゲンシンオウに強化させる。

6月



「ムゲンバイン ムゲン幻闘獣 (ムゲンガーディアン)」発売。

11月



8月

食玩版ムゲンバインのDNAを受け継ぐシリーズ「進化合体エヴォルバイン」がスタート。第1弾に「進化合体エヴォルバイン (ムゲンバーニク)」が発売された。

1月

「進化合体エヴォルバインⅡ (ムゲントルネード ムゲンストーム)」発売。

7月

エヴォルバイン最終アイテム「進化合体エヴォルバインⅢ ムゲンライティング」発売。

1月

ムゲンバイン新章「ムゲンサーガ」がスタート。記念すべき第1弾として「ムゲンサーガ ムゲンファラオ」が発売。

4月

「ムゲンサーガ ムゲンアサー」発売。



ガシャポン版第2弾「ムゲンバイン G 猛闘士」発売。前弾同様に武器への変形ギミックを有し、ムゲンジージャイアントからムゲンハンマーへと変形する。またプレミアムバンダイにて、「ムゲン五神獣」が「ムゲンバイン DX ムゲンファラオ」としてセット形式で再販。本商品は一部塗装箇所の追加と、メタリックシールへの変更が行われた。

ムゲンファイル 01

ムゲンファラオ

◎商品データ◎

発売時期: 2017年1月
 ラインナップ数: 全5種
 価格: 400円(税別)
 パーツ数: ①12個/②10個/
 ③10個/④14個/⑤13個
 玩具デザイン: 鈴木勝

商品
パッケージ

コストの都合と合体後の姿
 推しになったことから、旧
 商品とは異なり、ファラオ
 がメインビジュアルに。

シリーズ復活は
もちろんこのアイテムから!

記念すべきシリーズ第1弾には、「ムゲンバイン」
 の方向性を決定づけた本アイテムが選ばれた。ファ
 ンの誰もが納得できるチョイスだ。旧商品からの
 変更点は、成型色(深みのあるものに変更)、一部
 塗装箇所追加、シールの改修(紙シールからホ

イルシールに変更)の三点。仕様としては2008
 年に発売されたオリジナル版より、翌年にプレミ
 アムバンダイで販売されたセット再販版に近い。
 とはいえ、細かい配色が変わっているのも、16ペ
 ージの旧製品と見比べてみるのも一興だ。



② ムゲンスフィンクス

メインカラーが金と黒に統一され、よりス
 フィンクスらしさが強調された。シールを貼
 る箇所が減ったのは地味に嬉しいポイント。

▶頭部を外すこ
 とで、内部に脚を
 曲げた状態のロイ
 ダーを搭乗させる
 ことができる。



③ ムゲンラー

本ラインナップの中で、最も旧版との差異が少
 ない1体。それだけに背中中のパーツ(合体時は
 胸部に装着)に施された塗装の効果が際立つ。

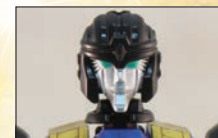
⑤ ムゲンセベク



旧版より黒の面積が増え、より重厚感が増し
 た。金色のパーツは塗装されており、合体前
 後を通じて良いアクセントとなっている。

① ムゲンアヌビス

旧版と比べると、首回りや前腕
 部のシールがオミットされたこ
 とで、より落ち着いた色合いに。
 ジョイントも多く、ブチカス
 マイズがしやすいのも魅力。



▲ヘルメットを外すとメカニ
 カルな頭部が露わに。頭頂部
 のディテールにも注目したい。



④ ムゲンスコーピオン

以前はシールで再現されていたハサミの差し
 色が塗装に変更された。色そのものも紫から
 金色に変わり、統一感がアップした。

開発者こぼれ話 1

玩具版の路線変更に合わせて、ムゲンロイドに代わ
 る「ロイダー」の採用と、乗せるためのコックピットを
 導入しました。実は当時、「玩具版が終わるかもしれ
 ない」という話があり、それなら汎用性の高いコックピ
 ットを残したいなど。なので、ラフの時点では胸部のサイ
 ズを玩具版にも合わせやすい大きさにし、可能な限りジョ
 イントを設けることで、使いやすい組み換え用コアにで

オリジナルデザイン担当: 鈴木勝氏

きればと考えていました。あと、実際の商品ではオミ
 ットとなりましたが、胸ハッチオープン→そこに立つロイ
 ダーというギミックはやりたかったですね。あとは最近、
 PLEXの坂尾さんがデザインしたアーサー以降のアイテム
 を組み換えた際、改めて互換性の高さは必要だなと感じ、
 参考になりました。自分がかつてデザインしていた頃は、
 組み換えることまで考えている余裕が無かったので。

ムゲンファラオ デザインワークス

貴重なカラー画稿と、線画の正面・側面図を開発者コメントと共にお届けする。

エジプトの機械神が
食玩に降臨！

こちらのカラー画稿は、鈴木氏が2008年に作成した「理想のカラーリング Ver.」。実は商品版の配色には関わっていなかったので、年賀状用として個人的に塗ったという貴重なものだ。塗装に自信がある方は再現してみても？

FRONT

カラー設定画は製品ではオミットされた部分まで彩色が施されている。また配色も一部異なっている（特に腰部フロントアーマーとヒザアーマー）ことにも注目したい。

HEAD

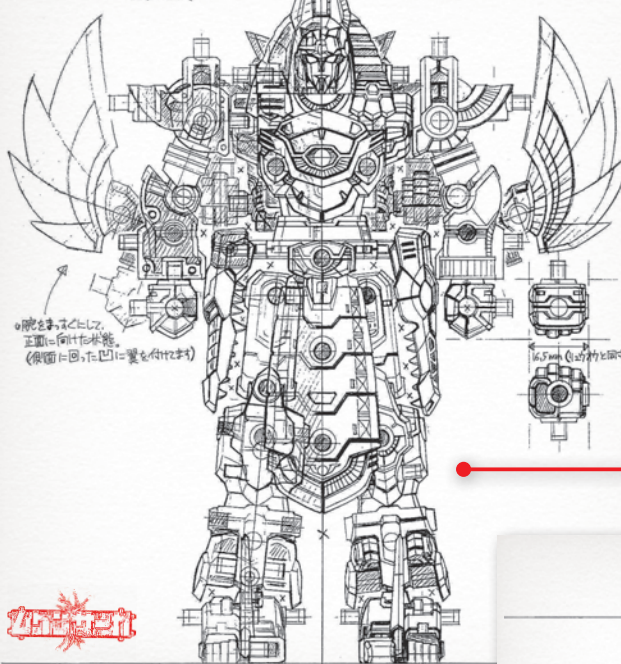


REAR

背面の塗り分けも非常に細かい。特にムゲンラーの頭部と脚部は凄まじいの一言。また、よく見ると製品版より銀色の面積が広く、メリハリの利いた配色になっている。



アヌビス神とスフィンクスの頭部でファラオの頭部を構成するアイデアは秀逸。側面ストライプもこの時点で立体的な処理が施されている。

ムゲンファラオ 合体時図面
※修正版

パーツ単位の隠し味として、サイドスカートにZ○ンダム、胸アーマーの段差のラインに巨神○ーグへのオマージュがありますね（鈴木）

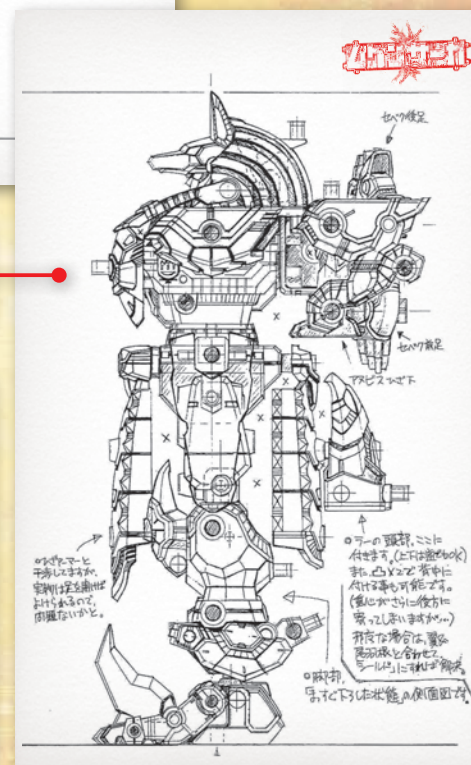
アニメ化!? と
勘違いさせる
ナイスなボックス

ボックス買いした人はご存知だろうが、こちらは外箱の上面に描かれたファラオのイラスト。見栄えを考慮して、実物よりディテールが追加されている。手掛けたのはファラオをデザインした鈴木勝氏。

2次元と3次元の
差異を読み解く

続いて、設計の土台となる図面を見よう。実物と比べると、身が詰まっていてマッシブな印象を受ける。これはジョイントや関節の“遊び”が絵に反映されていないため。設計時に調整されることも珍しくないという。

実は、古代エジプトのファラオのマスクというモチーフが共通し、自分の“原点”でもある勇者○イディーンのイメージを盛り込んでいます（鈴木）



ムゲンファイル 02

ムゲンアーサー

◎商品データ◎

発売時期:2017年4月
ラインナップ数:全5種
価格:400円(税別)
パーツ数:①12個/②9個/
③8個/④12個/⑤15個
玩具デザイン:坂尾重紀 (PLEX)
リデザイン:鈴木勝

商品
パッケージ

パッケージはファラオを踏襲。後述するブラックバージョンも同一のもので、購入の際は注意しよう。

無限なる騎士王が装いも新たに再誕!

ムゲンファラオに続くアイテムは、旧版と同じくムゲンアーサーとなった。以前のものと比べ、合体パターンと配色が大きく変更されている。前者は鎧や追加装甲的に用いられていたパーツを、取り付け位置の変更により翼や装飾に見立て、派

手さをアップ。また成型色は落ち着いたものに変更され、高級感と古の騎士らしい雰囲気が高められた。これはどちらもファラオと並べた際に生じる違和感を減らすための措置で、アレンジはファラオをデザインした鈴木勝氏が手掛けた。



① ムゲンナイト

デコレーションシールの削除と、太腿の金ラインの塗装追加で古代のロボット感が強まった。ナイトなのに剣を持たないのが寂しい人は、リヴァイアサンの尻尾を持たせよう。

② ムゲンライオ

旧版と比べ、シールによる色分けは減ったものの、黄色のパーツが金色に変更されたことで、百獣の王に相応しい威厳が備わった。



▲背中のハッチは開き、ロイダーを乗せられる。ロイダーは1パーツ成型で無可動。

③ ムゲンユニコーン

シールが削減されたことで色味が落ち着き、印象が大きく変わった。古代のロボットというコンセプトなら、こちらの方がしっくりくる。



▶こちらもロイダーが付属し、搭乗可能。アクロバティックな乗り込み方なのはご愛敬。



旧版の配色から差し色の赤を無くしたことで、荒々しいイメージが消え、代わりに幻獣らしい神秘性が加わった。今後を考えると2個確保した方がいいかも?

④ ムゲンリヴァイアサン

⑤ ムゲンフェニックス



金色のパーツが多いため、最も高級感がある一体。旧版と比べると頭部が赤くなり、不死鳥らしさもアップしている。両翼端の銀色が良いアクセントだ。

開発者こぼれ話 2

リデザイン担当:鈴木勝氏

体型はユーザーの組み換えを参考に、「やっぱりこうした方がバランスいいよね?」と共感したところを取り入れた感じです。装飾パーツは、よりヒロイックで華やかさが出るように配置。色に関しては担当の方から、まずユーザーの負担を軽減するためシールは極力減らしたいという方針と、塗装もあまり多くはできないことを伝えられました。そこで、成型色を活かすことを念頭に、「塗装しやすい、またはシールが貼

りやすく、はがれにくい」なおかつ「色が入ると効果的」な場所を絞り込み、そこにアクセントを入れることで引き締めています。成型色の黄色も、アクセントの金色に合わせて金に寄せることで、豪華さと気品を持たせつつ統一感を出しました。あと、実は試案のつもりで提出したカラー稿を元に配色が決まってしまったので、シンプルになり過ぎたのが残念。できれば、もう少し色を増やしたかったですね。

ムゲンアーサー デザインワークス

ファラオと比べ、大きく手を加えられたアーサー。改修に込められた想いとは？



FRONT

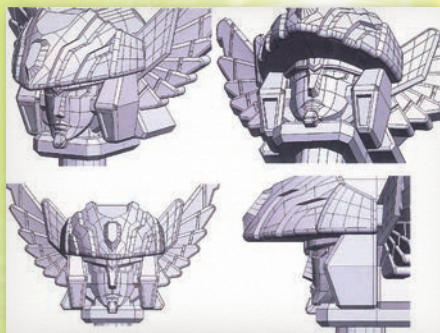
配色の検討段階で、旧版では鮮やかな黄色だった箇所が金色に置き換えられていたことが分かる。また、マーキングを削除した場合、どのような印象になるのかを確認する意味合いもあったようだ。

イメージの踏襲と刷新を両立するアプローチ

ムゲンサーガ版アーサーは、他の商品との統一感を出すため、旧版から組み方と配色が変更されている。とはいえ、全く別物にするわけにもいかない。そこで、色については彩度を落ち着かせるのみとし、組み方で旧版との差別化を図っている。新たに背中に設けられた翼はその象徴と言える。

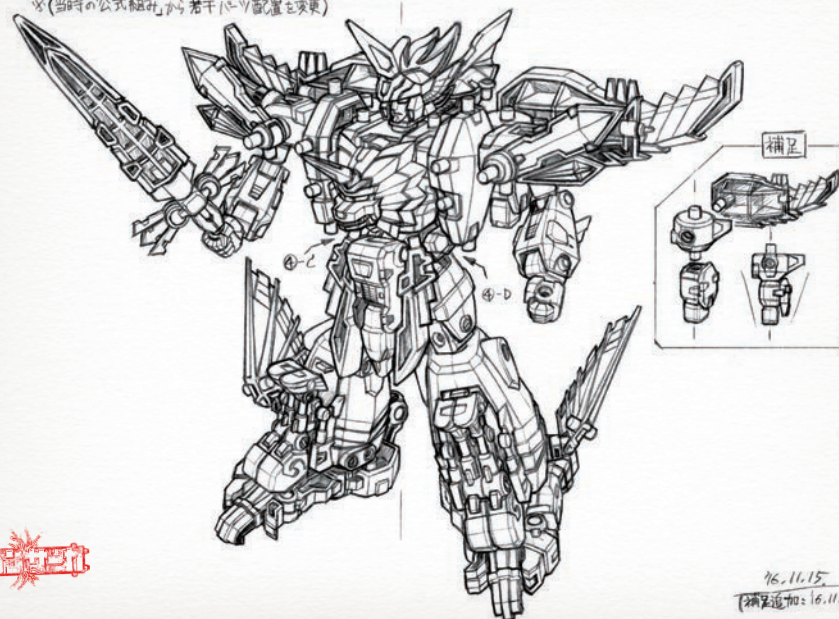
FACE

こちらは頭部の金型用3Dモデル。今回は顔の印象を変えるため金型に改修が施された。次ページのデザイン画と比べると、やや立体感が抑えられた仕上がり。



＜ムゲンサーガ版アーサー、カラーリング検討用ベース画＞ 補足追加版

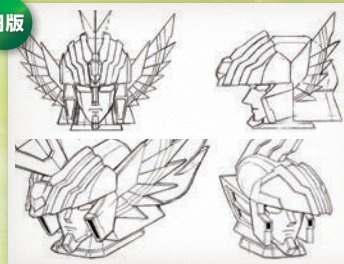
※(当時の公式組み方から若干パーツ配置を変更)



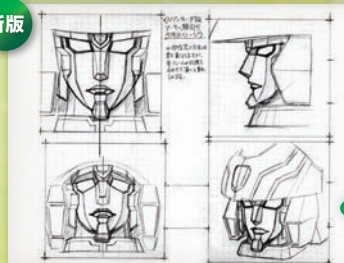
鈴木氏がこだわった唯一の改修点とは？

成型色以外にも、実は変わった箇所が一箇所だけある。それは、ヒーローロボットの命である“顔”だ。鈴木氏のための希望で、新版はディテールの追加と、顔の彫りを深くする改修が行われた。その際は、オリジナルデザインを担当した坂尾氏には申し訳ないと思いながらの作業になったそうだ。

旧版



新版



凛々しさMAXなボックスの“顔”

全ラインナップをまとめて封入するボックスの箱絵は、やはり鈴木氏が描いた顔部アップだ。イラストは大きなサイズで印刷されているので、一新されたアーサーの顔の細部を隅々まで確認できる。



顔立ちを変化させることでキャラクター性を高める

当時「ハニワ顔」と言われていた、のっぺりした顔の造形はなんとかしたいと思っていたので「ここだけはなんとか！」とお願いして、当時品の写真に修正を入れ、形を拾ってもらいました(鈴木)

ムゲンファイル 02.5

ブラックムゲンアーサー

アーサー +
ブラックアーサー合体例二体のアーサーが
お互いを武装強化!アーサー +
ブラックアーサー合体例ムゲンサーガの可能性を
広げる暗黒騎士!

ムゲンサーガで新たに誕生したアーサーのダークバージョン。ノーマルカラーと比べると、肩や背中などの装飾を担当するパーツの配置が変更され、より禍々しい雰囲気。配色もノーマルではバラバラだった両スネの色が揃えられるなど、よ

り合体時の調和が意識されている。また、ノーマルアーサーと併せて遊ぶことで、上の写真のような大型武器を構築したり、オリジナルカラーのアーサーを組み立てられる。設定については不明な点も多いので、会場の鈴木氏に語って頂こう。

① ブラックムゲン
ナイト

成型色の変更により黒騎士に生まれ変わった。他のラインナップよりメタリックレッドの面積が抑えられているのも、その印象を強めるのに一役買っている。

② ブラックムゲン
ライオ

ノーマルカラー同様、タテガミの色の変更が効果的な一体。形状の複雑さも相まって、メタリックレッドの色味が映える。ロイダーもまた異なる趣だ。

③ ブラックムゲン
ユニコーン

ユニコーンなので角は生えているが、ブラック化でどちらかと言えばクールな黒馬に。ヒロイックなノーマルカラーと比べると、金色のアクセントに代表されるアダルティな雰囲気が付与された。

④ ブラックムゲン
リヴァイアサン

清潔感が強調されたノーマルカラーとは打って変わり、黒と紫のツートンカラーでダークな仕上がりに。両サイドのヒレの刺々しさが悪役感をさらに高める。

⑤ ブラックムゲン
フェニックス

5体の中で、最もメタリックレッドの面積が広い黒死鳥。赤く大きな翼は構築の際、アクセントにしやすい。またノーマル版との相性もいいパーツだ。

開発者こぼれ話 3

かつてのリカラー商品である「デスエンペラー」に倣い、色数を一つ減らして構成。赤と青を黒にすると、肩と前腕や膝から下が黒という「王道の配色」になるので、「これだ!」と。デスエンペラーとは差別化しつつ敵に見える色ということで、悪役の定番カラーと言える「黒・紫・赤」の三色で、という安直な発想でしたが、上手くハマってくれました。組み換えに関しては、分かりやすく「強そう&

リデザイン担当: 鈴木勝氏

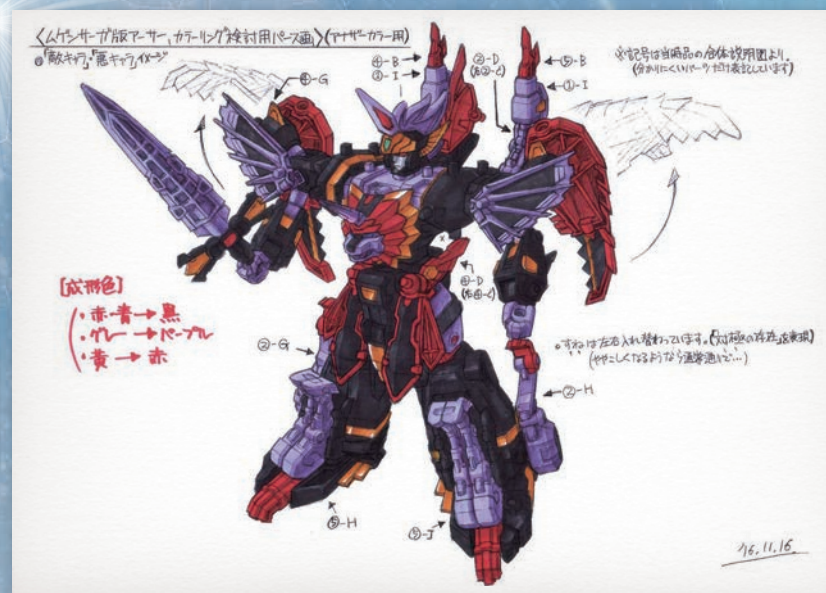
悪そう」です。翼の先端を内向きにして垂らすと、シルエットが悪魔っぽく見える気がしたので、そこを活かす方向で他のパーツを構成。背中から伸びる二本のアームと先端のトゲ、およびその間の突起と合わせて、いい具合に凶悪さを出せたかなと思います。とにかく見た目の差別化を最優先したので、肩を回すと翼の基部まで一緒に回ってしまうのは見逃して下さい…。

ブラックムゲンアーサー デザインワークス

元がヒロイックなデザインだけに、悪役に見せるためのカラーリングと構築の検討作業は慎重に行われた。

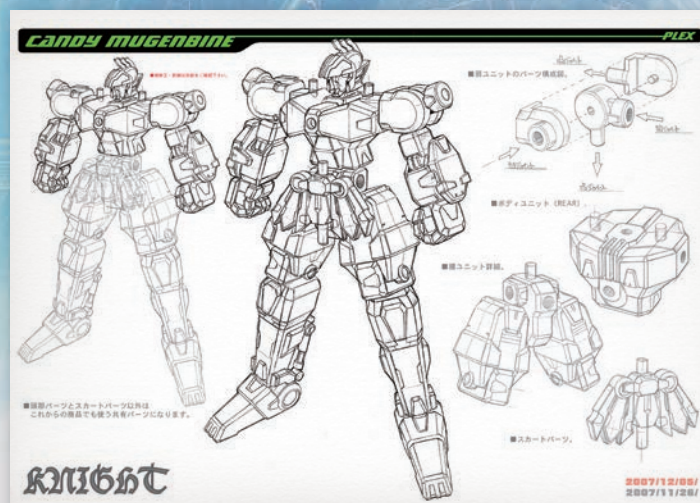
商品に採用されたパターンはこちら。ノーマルアーサーの影をイメージしているとのこと。製品版と比べると胸部のタテガミの縁が金色になるといった微妙な差異がある。

正統派ヒーローに対する正統派閣落ちカラー



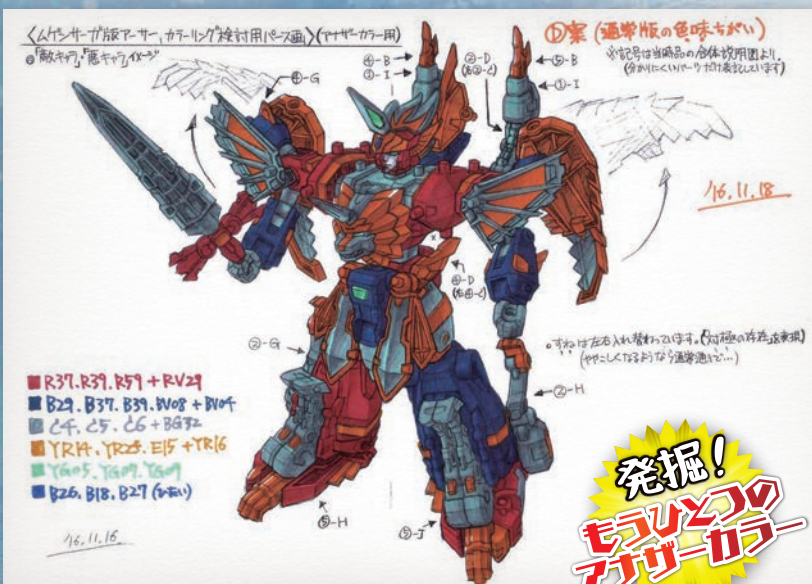
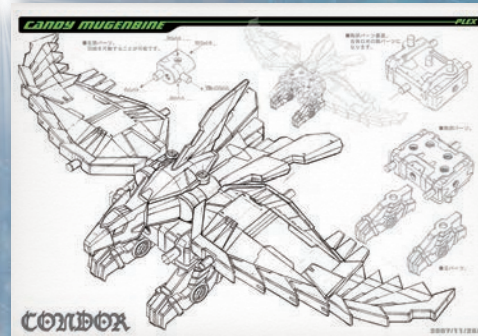
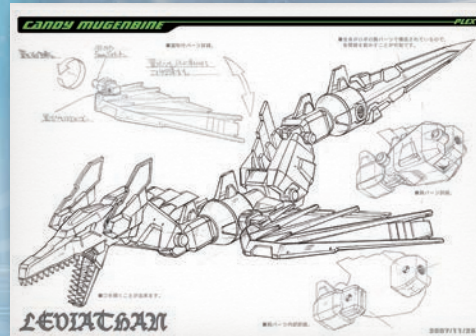
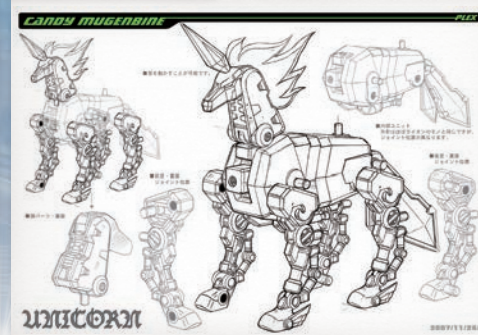
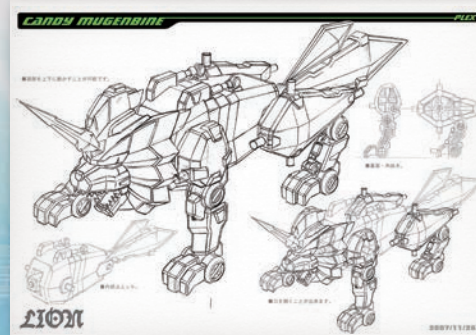
アーサーロイド デザインワークス

ここでは分離状態の各メカの線画設定を一挙公開。線画だからこそ分かるディテールに注目してほしい。



シルエットと立体感を整理する

デザイン画の段階で、ジョイントやパーツ構成まで精緻に描き込まれている。また線画だと、安全性と情報量を両立するため、面取りや凹凸が多用されていることが改めて理解できる。ちなみに各種ギミックの機構検討には、発泡素材のモデルが使用されていたという。



洪さが際立つトーンダウンver

こちらは上と同じ組み方で、ノーマルアーサーから色の明度を落としたパターン。元々の配色がヒロイックなため、多少暗くなった程度では悪役に見えないことから不採用となった。

発掘!
モウリツの
アサザカラー

ムゲンファラオ



食玩ロボの歴史を
塗り替えたマスターピース！

メインビジュアルが合体前のメカのため、識別が容易なパッケージ。



プレミアムバンダイで
受注販売されたセット
売り版のボックス。

それまで玩具版のデザインラインや
ギミックを踏襲してきた食玩版ムゲン
バイン。しかし、本商品で突然変異的
な進化を遂げる。ヒーリックかつスタ

イリッシュなフォルム、破綻が無い上
に適度な難度の合体システム…と、そ
こには玩具好きの大人が求める“理想
の合体ロボ”の一つの回答があった。



当時の合体例



▲アヌビスの頭部を駆使すれば、イヌ科
の動物モチーフのメカを構築できる。



▼様々な大きさの頭部と長さの異なる手
足で、SD キャラを作ること可能だ。



▲ムゲンセベクの頭部を用いると、竜の
ように体が長い幻獣も自然に仕上がる。

開発者こぼれ話 4

オリジナルデザイン担当：鈴木勝彦

デザインに関して言えば、「直球で正統派と真ん中のヒーリック感」を意識し、それは一定水準まで達成できたかと思います。あと、セベクがバラけて腰のアーマーになる、アヌビスの頭部にスフィンクスのヘルメットが付いてファラオの頭部になるといった好評を頂いたポイント

トは、実は当時の開発担当であるメガハウス坂本様の発注ラフで提示されていたものです。コストの都合上、デザイン段階から削られたジョイントやギミックといった不満な点も多々あるので、機会があれば「完全版」もしくは「リニューアル版」をやってみたいですね。

ムゲンアーサー



シリーズの方向性を拡大した
偉大なる極彩色の騎士！

パッケージはムゲンファラオ同様、分離状態をフィーチャーした構成。



騎士王アーサーがモチーフだが、ディテールがファラオの古代感溢れるものから近代的なものに変化した。そのため当時は違和感を覚えるユーザーも少

なくなかった。このテイストの違いは、両者のデザイナーがそれぞれの出自を古代と現代に想定していたため。実は当時の業者用資料でも言及されている。

② ムゲンライオ



① ムゲンナイト



③ ムゲンユニコーン



ロイダー
(②と③に付属)



④ ムゲンリヴァイアサン



⑤ ムゲンフェニックス



各種マーキング



▲旧版のムゲンアーサーをモダンな印象にしていたのは、これらマーキングの力も大きい。中でも

左端のムゲンアーサー用のマークは、どこかミリタリックなテイストが感じられ興味深い。

開発者こぼれ話 5

オリジナルデザイン担当：坂尾重紀氏 (PLEX)

ムゲンアーサーは、PLEX 修業時代の仲間の鈴木さんがデザインしたファラオの大ヒット後だったので、当時はそれなりのプレッシャーがありました。デザイン面では、あえてパキパキな面構成にしてファラオとは違った印象にしたのですが、それがお客様に受け入れられるのか不

安で、割とドキドキしてましたね。蓋を開けてみたら、売れ行きは良かったのでとても嬉しかったです。過去の商品がこういったカタチで再販されたのは、きっとファンの皆様のおかげです。今までムゲンバインで遊んでいない方にも、是非トライして頂きたいですね！

ムゲンサーガ決起集会 スペシャルブックレット

2017 年 4 月 23 日 配布

構成・編集 関根祥雄 (株式会社ウェッジホールディングス)

デザイン 株式会社ウェッジホールディングス

協力 株式会社バンダイ キャンディ事業部

合同会社ラ・シタデル

Asagaya / Loft A

印刷 株式会社グラフィック

Special Thanks

鈴木勝

坂尾重紀 (株式会社 PLEX)

鳥居沙菜 (株式会社バンダイ)

三原飛雄馬 (株式会社バンダイ)

ムゲンサーガの詳しい情報はこちらをチェック!

<http://www.bandai.co.jp/candy/mugen/>



本イベントの撮影・録音またそれらを WEB 上にアップすることを禁止します。

イベント主催者の許可なく、本イベントの撮影・録音、またそれらをインターネット上にアップすることを禁じます。

本冊子はあくまでイベント参加者にノベルティとして配布しているものです。中古店やネットオークションなどでの転売は控えてください。

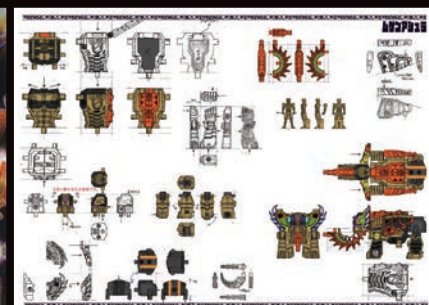
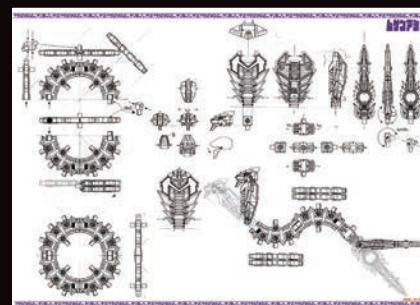
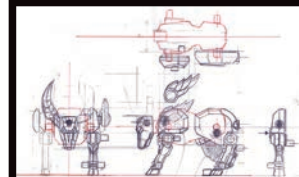
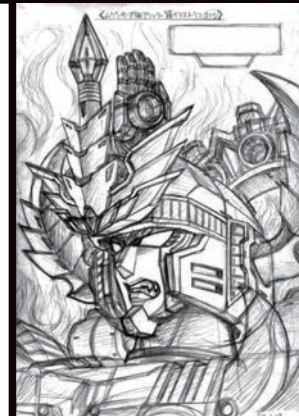
©PLEX

《ムゲンサーガ版アッシュ、カーリング機用パーツ画 図(新・公式モード)》

45th Anniversary



- YR04, YR16, YR07
- R17, R27, R29, R37 (旧版用 旧パーツ)
- YR23, YR14, YR24, E37 (金)
- N3, N4, N5 (銀)
- N8, N9, N10 + B37 (ネビュラ)※青味強め
- Y607, Y607, Y607
- (白)※青味の白
- B26, B29 (銀+青)



《ムゲンサーガ版アッシュ、カーリング機用パーツ画 図(アサギモード)》

45th Anniversary



【成形色】

- 黒・赤→濃紺
- オレンジ→青銅青紫
- 金→銅(褐色)

- N2, N3, N4 (銀)※青味強め YR16+YR17
- B21, B12, BV00, BV04 + B23
- V17, V07, BV08 + B29
- E15, E39, E19 + YR23 (銅色)
- BV00, BV04 + V12 (青銅青紫 YR16+YR17)
- RV07, RV17, RV29 (黒・赤+青銅青紫)
- V12 (青銅青紫)
- YR09 (銀+青)
- Y38, YR04, YR16 (青銅青紫)

17.1.26

17.1.12

次なる無限の伝説は
闘神たちに託される――

